

日本放射線影響学会第 61 回大会（長崎）アンケート集計結果

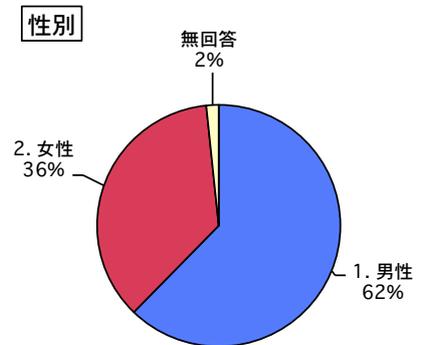
実施期間：2018 年 11 月 7 日～20 日

回収数：61 件（うち大会期間中の回収 54 件、後日のメールでの回答 7 件）

< 基本情報 >

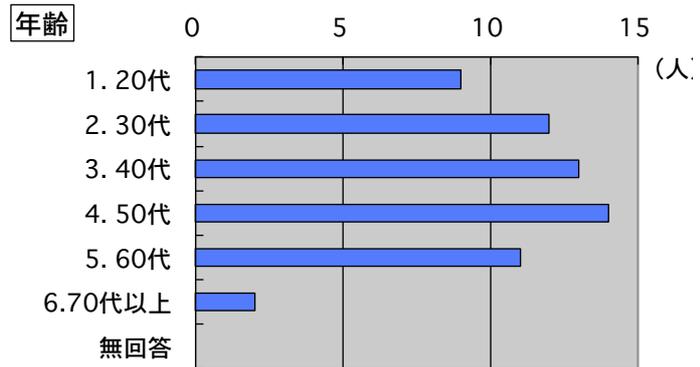
Q1) 性別

性別	n	(%)
1. 男性	38	62
2. 女性	22	36
無回答	1	2
計	61	



Q2) 年齢

年齢	n	(%)
1. 20代	9	15
2. 30代	12	20
3. 40代	13	21
4. 50代	14	23
5. 60代	11	18
6. 70代以上	2	3
無回答	0	0
計	61	

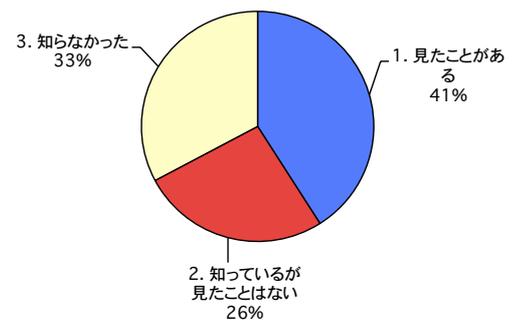


Q3) キャリアパス・男女共同参画委員会 Web ページについて

(https://www.jrrs.org/about/gender_equality.html)

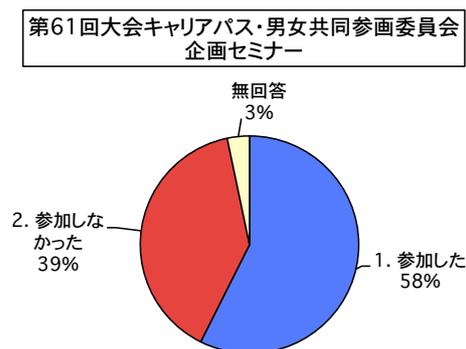
キャリアパス・男女共同参画委員会Webページ	n	(%)
1. 見たことがある	25	41
2. 知っているが見たことはない	16	26
3. 知らなかった	20	33
計	61	

キャリアパス・男女共同参画委員会Webページ



Q4) 第 61 回大会キャリアパス・男女共同参画委員会企画セミナー

第61回大会キャリアパス・男女共同参画委員会企画セミナー	n	(%)
1. 参加した	35	57
2. 参加しなかった	24	39
無回答	2	3
計	61	



Q5) 第 61 回大会キャリアパス・男女共同参画委員会企画セミナーの感想（自由回答）

セミナーの内容について：

- ・色々な方のキャリアパス経験を聞けて勉強になった。
- ・様々な視点からの意見が聞けてよかった。
- ・色々な先生方のご経験をお聞きできてよかったと思います。
- ・研究者という職に限らず、これからキャリアを積む人にとって人生の先輩からのお言葉はありがたいと思います。
- ・パネリストの先生方の話がそれぞれ良いものでありました。
- ・博士に進んだ、そして成功された経験を話されて、とても参考になった。
- ・様々な立場、キャリアのパネリストの方々の経歴、考えなど、素直なご意見を聞けて大変参考になりました。
- ・様々な立場や経験をお持ちの先生のお話を聞くことができたので、今後の自分のライフワークバランスを考える上で非常に参考になった。個別のケースがあるが、いかに乗り越えたかが知れてよかった。
- ・いろんな環境で研究されているパネリストの方の生き方を聞くことができてよかった。極端にいうとみんな順風満帆な方たちばかりだと思っていたので。
- ・とても良かった。
- ・非常に有意義だった。
- ・パネリストのお話を聞けて、参考になりました。
- ・女性視点の問題点を紹介されており、具体的で分かりやすかった。研究職の多様性のあり方について考えさせられた。
- ・初めて参加したが、様々な体験談が聞け、非常に参考になった。
- ・パネリストの先生が皆、大切なことをおっしゃっていました。
- ・予想したよりたくさんの経験談等きけてよかった。
- ・パネリストが、自身の経験や考えを真剣に話していて、感銘を受けた。
- ・予想以上に議論が盛り上がっていて有意義だった。今後も継続していくことがのぞましい。
- ・良かった。
- ・キャリアパスのテーマで若手・中堅研究者の意見がきけたのは良かった。

- ・みなさん、研究者としての細いキャリアパスを進んできたという印象です。個人のキャリアパスが具体的に説明されたので、考えやすかったのではないかな。

セミナーの形式・進行について：

- ・時間においても丁度よく、進行がよかった。
- ・よく準備され、進行がとてもうまかった。
- ・パネル形式をうまく使っていて、とても良かった。

開催時間帯について：

- ・若い人が参加しやすい時間帯にやればと思いました。
- ・WS等の時間帯の方が参加しやすいですが、夕方もオフ会のようなフランクさがあった良かったです。
- ・仕事があって参加できませんでした。済みません。

今後の課題：

- ・学会としてなにができるかの知恵を出てくれば、対応する。→学会内ハローワーク（ポスドクや就職サイトの立ち上げなど、学会貢献者には理事長の推薦文）
- ・失敗談・研究以外の道に行った人のロールモデルはぜひ知りたい。
- ・キャリアパスのゴールは研究者では必ずしもないと思う！他の学会と同じような議論ではなく、福島後の日本の状況を踏まえた議論が必要だったと思う。
- ・ホームページなどに出ているかもしれませんが、放射線影響研究分野のキャリアパスの特徴をまとめたものが見てみたい。パネラーの話にもあったようにおもしろい分野だと思う。

Q6) 次回以降のキャリアパス・男女共同参画委員会企画セミナーの内容についての提案・要望

継続を希望：

- ・重要ですので、引き続きお願いします。

開催時間帯について：

- ・もう少し早い時間帯に開催した方がよい。
- ・昼にランチオンでやってはどうでしょう。スポンサーを見つけて。
- ・もっと若手（男女とも）が参加できる時間帯に開催してはいかがでしょうか。

学生が参加するような工夫を：

- ・聞いてほしい相手である“学生”が会場にあまりいなかったのがとても残念でした。企画するだけでなく、いわゆる客引きをする工夫が必要。例えば、逆企画。学生が登壇して問題提起、あるいは聞きたいことを出す。それに対する答えを会場にいる客＝先輩先生から聞くパターン。（同級生がステージに上がれば、同じラボの学生は参加するかと）あるいは、学生がそのセミナーに参加すると何かもらえる、とか。指導教員が学生に積極的に参加するようにリマインド

してもらおう、とか。

- ・悩み（議題）は年齢は関係なく共通したものだと思うので、学生にも通ずるような内容であると多くの人のためになる会になると思います。

ゲスト（演者）について：

- ・他の分野や他の隣接領域のゲストを呼んだセミナーはどうでしょう？OGの話がたくさん聞くのはよいことだと思う。時代が違っても変わらないことがたくさんあります。
- ・波乱万丈だけれども、研究者として生き残っているような人の話。
- ・成功例や理想だけでなく、失敗例や困っていることを取り上げて、多くの人と悩みを共有・解決できるセミナーになると良いと思います。
- ・男女共同参画には様々なケースがあると思います。良い例、悪い例（失敗談等の軽いものから、Lab単位の重いものまで）両面からアプローチをしても良いのではないのでしょうか。
- ・いろんな研究者の話をもっと聞きたいです。
- ・ロールモデル紹介
- ・ロールモデルとなる人の話。今日のテーマも良いですね。

テーマについて：

- ・日本と外国とのキャリアパスの違いについての企画を希望します。
- ・アンコンシャスバイアスについての企画を希望します。
- ・キャリアパスのテーマ、男女共同参画のテーマを年度ごとに入れ替えて企画し継続してはどうでしょうか。
- ・特に今子育て中の男女若手研究者のワークライフバランスへの悩み、大学や民間のサポート利用など、現在の取り組みについて。
- ・学会として具体的にどんなサポートができるのか教えていただきたい。
- ・もっと放射線分野であることをふまえて議論した方がよい。（単に生命科学とは異なる）

今回（第61回大会での委員会企画セミナー）のような形式も良い：

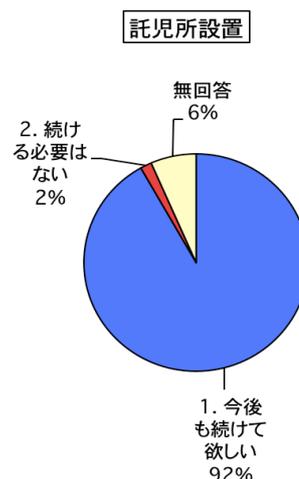
- ・今回のパネルディスカッションでは非常に有意義な話が聞けたので、今後もこのような形式で経験談を聞ければ嬉しい。
- ・今回と同様の形式で1人提起する形で4人が回答する形式ではじまると良いと思った。
- ・女性のパネリストがもう少し多くても（あと1人いても）良いと思う。

その他：

- ・懇親会、ポスターに子連れで参加したい。

Q7) 大会会場内託児所設置について

託児所設置	n	(%)
1. 今後も続けて欲しい	56	92
2. 続ける必要はない	1	2
無回答	4	7
計	61	



Q8) 第 62 回大会 (2019 年 11 月 14 日～16 日、京都) での託児所利用希望数 (未就学児)

計 7 人

Q9) 第 63 回大会 (2020 年 10 月頃、福島) での託児所利用希望数 (未就学児)

計 7 人

Q10) 第 64 回大会 (2021 年開催予定) での託児所利用希望数 (未就学児)

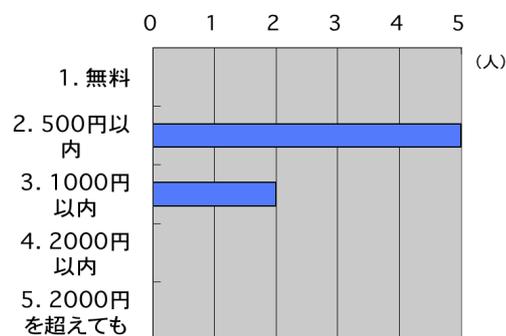
計 6 人

Q11) (Q8～Q10 で託児を希望される場合)

子供一人・一時間の託児に支払うことが可能な利用料金帯

託児への支払い可能料金 (子供1人1時間あたり)	n	(%)
1. 無料	0	0
2. 500円以内	5	71
3. 1000円以内	2	29
4. 2000円以内	0	0
5. 2000円を超えても良い	0	0
計	7	

託児支払い可能利用料金



Q12) キャリアパス・男女共同参画に関する意見

活動の継続を：

- ・とても活発に活動されていると思います。
- ・結果が数値として見えてこないのですが、それでも続けることが大切です。
- ・活動を続けて頂ければありがたいです。大学の教養課程でキャリアパスロールモデルや国の制度の授業があると良いのかもと思います。

今後の活動について：

- ・託児所や女性研究者によるシンポジウムなど、これからも続けてほしい。
- ・来年からは、参加者にとってキャリアパスを実感できるイベントを企画してほしいです。(セミナー、面談 など)
- ・お互いいろいろ話すことで新しい情報が得られると思います。人として知ることも大切。
- ・吉田先生（東北大）のコメントにあるように Diversity という視点で研究者を支えるための企画をするとよいかも。留学生のためのキャリアパスセミナーもやるべきかも。その留学生がどうやって留学先を決めて、どんな奨学金でがんばっているかを話してくれることが日本からの留学を増やすことになるかと。
- ・学会としてポスト要望していく原案作りをしてはどうでしょうか。
- ・10年後の放射線関係講座や研究施設がどうなっているか、予想し、今後のキャリアパスのためにすべきことに先手を打つ。他の学会や、企業の研究者、官僚の意見も聞けたら良い。
- ・キャリアパスも大事だけど、そもそも何のために研究しているのかを話す場もないと、バランスがとれないのでは。
- ・研究者以外のキャリアパスにどのようなものがあるのか？

委員会企画セミナーについて：

- ・また参加してみたい。
- ・若手の方のためになるようなお話も多かったので、次回からもっと多くの方に参加していただければと思いました。事前のお知らせ、声かけが重要と思いました。
- ・学生が参加するように仕向けるのを忘れていました。
- ・今回のセミナーは 17：50～と遅い時間だったため参加しませんでした。ランチョンか、もう少し早い時間帯であればうれしいです。
- ・若手の参加者が少ない気がしたので、(仕方ないことかもしれませんが・・・) 若手が参加しやすい、あるいは参加したくなるテーマやタイトルがあると良いかと思いました。
- ・もっと多くの方が参加できる(する)時間帯での実施やプレフリー化を検討して頂きたい。

託児所について：

- ・託児所があることがもっと目につくようにしてください。
- ・託児料金についてですが、少し高めの時間単位料金(例えば 300 円の時間・人)に加えて、1日料金で一律最大 1000 円というようにしてもらった方が利用しやすいと思います。また、昼

ごはんはアレルギーなどの問題があるので、昼ごはんを挟んで託児したい方については、子供の昼ごはんを持参したら良いと思います。具体的には、横の小さい子が食べても大丈夫なように、おにぎりなどのアレルギーがない食べ物に設定しても良いかもしれません。

もう一つの疑問として、少子化対策にもつながると思いますが、学会費と同じような扱いで託児料金を出せるようにできないものでしょうか？

貴重なご意見を多数いただき、大変有難うございました。

本アンケートの結果を、今後の大会でのセミナーの企画・託児室の運営、および、委員会の活動に活かしていきたいと思います。

今後も、当委員会の活動にご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本放射線影響学会
キャリアパス・男女共同参画委員会